

## 校長室から

### 「気を抜いてはいけない」

いよいよ師走に入りました。年を重ねるにしたがって、歳月の流れを早く感じるとも言われますが、まさしくそうだなと思う今日この頃です。子どものころは、きっと一年をもっと長く感じていたのでしょうか。

さて、最近、生徒の自転車の乗り方が悪いと、地域の方からお叱りを受けることがありました。ちょうど試験も終わって気持ちも少し緩んでいたのですが、一つ間違えば命に関わる大きな事故にも繋がりがかねません。その方はお名前も仰っていただいたので、早速お礼に上がり、状況をお聞きしました。

こうしたことが最近2件ほど続いてありましたが、自転車のマナーの悪さをご指摘いただいただけではなく、やはり子どもたちの命を大切に思っでご連絡くださったのだと思います。私も、時々、道ばたに車を停めて自転車通学生に注意をすることがあります。気になるのは並進での走行や交差点にスピードを落とさずに進入したりすることです。

学校では、生徒指導部長がこうしたご指摘のあったことは必ず担任に伝え、担任は朝の会や帰りの会を利用して生徒に伝え、交通安全の重要性を説いています。また、教員による街頭指導も行い、交通ルールの遵守やマナーの悪い生徒を発見した場合には命に関わることですので厳しく指導もしています。しかし、なかなか徹底しないのも事実です。

どの世界にもルールというものがあります。これくらいは良いだろうという甘えが積み重なると、大きな事故に発展します。命だけは守らなくてはいけない。当たり前のように思えることですが、生徒たちの自転車通学では、この当たり前のことが当たり前になってきて当然なのです。

保護者の皆様にもお願いがあります。どうか、出掛けに「気をつけてね」「ルールを守りなさいね」の当たり前の言葉を、お子さんに伝えて送り出してください。私たちは、子どもさんを朝元気に迎えて、元気にお帰しすることが大事な使命だと思っています。学校と家庭とで、交通安全を含めた命の大切さを、今一度子どもたちに伝えていきたいと思っています。

平成23年12月6日



学校では、2年生を対象に、保健体育の時間に救急救命の講習を行っています。「大事な命を大切にしてほしい」、嶺北消防署のみなさんの熱い思いが伝わってきます。お忙しい中ありがとうございます。